

第62回全道高等学校理科研究発表大会 @函館アリーナ&函館市民会館

2023年10月12～13日、第62回全道高等学校理科研究発表大会が函館アリーナ&函館市民会館で開催され、科学部1・2年が参加してきました。

新型コロナウイルスの影響により、昨年度までオンライン開催であったことから、4年ぶりの対面開催となりました。

本大会は、道南支部が当番支部であったことから、函館西高校（事務局校）・遺愛女子高校・函大柏稜高校・函大有斗高校・白百合学園高校の皆さんと協力して運営しました。

今年度、本校からは1年生がポスター発表（オープン発表）、2年生が研究発表しました。うち、**2年大沼河川班が地学部門で見事総合賞を受賞し、来年8月に岐阜で開催される全国高等学校総合文化祭への参加権を獲得しました。**

この研究は、今年の春に本校を卒業した先輩が研究していた、大沼国定公園の水圏環境に関する内容を継続調査・発展させたものであり、過去3年間、大沼や流入河川でサンプリングした水質データを基に考察したものでした。

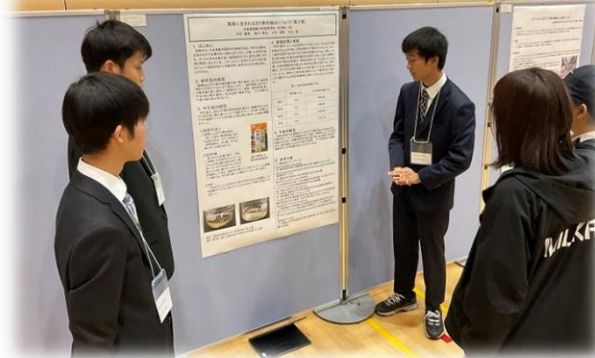
参加した1年生からは、「全道の高校生と化学の話ができたのがとても楽しかった」「他校の研究発表内容が面白くて、とても勉強になりました」「自信をもってポスター発表ができたのは良い経験になりました」といった感想が、2年生からは「自分たちの研究を評価していただき、サンプリングや分析を頑張った甲斐がありました」「道南支部大会や発表練習時には発表や質疑応答が上手くいなくて大変だったけれど、全道大会の場で自分たちの力を出し切ることができました」といった感想がありました。

1年生は来年の全道大会に向けて、2年生は来年の全国高総文祭で良い発表ができるよう、研究内容を見直すとともに、サンプリングや室内実験といった研究活動を続け、研究の質を高めていきます。

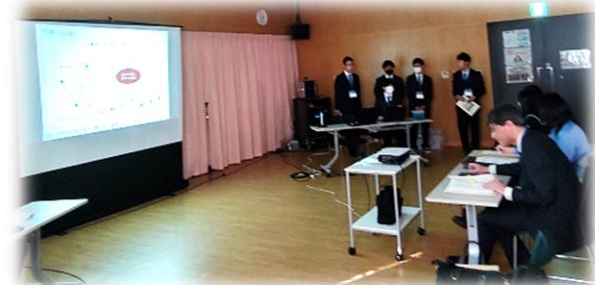
研究活動に際し、多くの方々からご支援・ご協力をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



本校生徒（大学生っぽく見えるでしょうか？）



1年生、ポスター発表中



大沼河川班、研究発表中



化学部門で総合賞を受賞した
函大柏稜高校の皆さんと